

NEW

福岡歯科学園広報誌

ニュー ソフィア

SOPHIA

JULY, 2006

Vol.14 No.3
(第51号)

FUKUOKA SHIKAGAKUEN



CONTENTS

トップインタビュー — 2

大学院に特別奨学生制度 — 3

日本歯科放射線学会
第11回臨床画像大会 — 4

公開講座(大学・短大) — 5

COLLEGE NEWS
平成17年度 事業及び
決算の概要 — 6・7

FROM PARENTS
保護者からのメッセージ — 8

FROM THE ALUMNI
ASSOCIATION — 9
同窓会だより

HI FROM CLINICS — 10
クリニックからこんにちは

第9回福岡歯科学園体育祭
第38回歯学体(夏期)日程 — 11

平成19年度入試日程
オープンキャンパスの案内 — 12

『ニュー ソフィア』は福岡歯科学園
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

福岡歯科学園



西日本地区唯一の私立歯科大学として、これまで3000人を超す歯科医師を育成してきた福岡歯科大学(福岡市早良区)。同大学は、全国に先駆けて付属病院に「高齢・障害者歯科」を開設したほか、昨年からは「医科歯科総合病院」に病院名を変更し、同4月には歯科大病院としては全国で初めて「心療内科」を導入するなど、常に先進的な試みに挑戦し続けている。そこで、歯科医療の在り方や今後の展望などを、同大学や福岡医療短期大学などを運営する学校法人福岡歯科学園の理事長、田中健藏氏に聞いた。聞き手は豊田滋通・西日本新聞編集企画委員長。



施設・設備が充実している福岡歯科大学

口腔医学の確立を目指す

5大学連携協立ち上げ

昨年二月の地下鉄七隈線と環状道路、有田重留線の開通で、大学の交通の利便性も随分良くなりました。

田中 大学の正門が幅二十七メートルの大きな道路に面したことは大きなメリットです。また地下鉄の賀茂駅からキャンパスが見えることで地域の認知度が増し、存在感をアピールできるような気がします。

また昨年一月から付属病院の名称を「福岡歯科大学 医科歯科総合病院」と改めたため、歯科だけでなく一般の患者さんも多くなりました。今後の患者さんのための歯科医療の在り方を考えるいい機会になったと思っています。

田中 本田武司学長の発案で、七隈線沿線の福岡大学、中村学園大学と合同したシンポを開催し、地域

の人たちと一緒に生活習慣病や歯周病の予防などを考えました。今年はこの問題をテーマに計画されています。

昨年十一月には福岡市西区元岡に九州大学伊都キャンパスが開校しました。早良区の西南学院大学を

歯科大で初の心療内科

昨年十一月策定の中期構想で「口腔医学の確立」をトップ項目に挙げておられます。

田中 歯科は単に歯の疾患だけでなく、唾液腺疾患や舌がん、歯周病な

信頼される歯科医師を育成

昨年十一月策定の中期構想で「口腔医学の確立」をトップ項目に挙げておられます。

田中 歯科は単に歯の疾患だけでなく、唾液腺疾患や舌がん、歯周病な

分難されて百年以上の歴史があるので、すぐにこの考え方を要するのには難しいです。

日本では内科と歯科が分離されて百年以上の歴史があるので、すぐにこの考え方を要するのには難しいです。

日本では内科と歯科が分離されて百年以上の歴史があるので、すぐにこの考え方を要するのには難しいです。

日本では内科と歯科が分離されて百年以上の歴史があるので、すぐにこの考え方を要するのには難しいです。

日本では内科と歯科が分離されて百年以上の歴史があるので、すぐにこの考え方を要するのには難しいです。

日本では内科と歯科が分離されて百年以上の歴史があるので、すぐにこの考え方を要するのには難しいです。



福岡歯科学園理事長

田中 健藏氏

たなかけんぞう 一九三三年東京都生まれ。九州大学医学部を卒業後、同大大学院特別研究生として前期修了、医学博士。同大医学部長などを経て、八一年から五年間は学長を務めた。福岡歯科学園には九一年から理事として就任、九二年から現職。



講義と並行して行われるファントム(模型)実習

重要な高齢者口腔ケア

高齢社会への対応も全国に先駆けて取り組んでおられます。

田中 一九九一年に西日本地区で初めて「高齢・障害者歯科」を開設しました。

障害者歯科」を開設しました。高齢者には口腔ケアが非常に大切です。例えば高齢者に多い死因の一つの嚥下性肺炎は、摂取した食べ物や唾液に含まれる細菌が誤って気管に入ると発症する肺炎です。

こういう高齢者の疾患を予防するためには、しっかりかんで飲み込ませること、口の中を清潔に保つことが必要ですが、実際に

にはうまくいっていないのが現状です。そこで二〇〇二年

に介護老人保健施設「サンシャインシティ」を、〇三年には特別養護老人ホーム「サンシャインプラザ」を開設して、高齢者の口腔ケアの担い手である歯科医師や歯科衛生士、介護福祉士を医療と福祉の現場で教育しています。

田中 歯科医療が進歩していると同時に、治療方法も進歩しています。例えばインプラント(人工歯根)の問題でも、入れ歯がいかにインプラントが良いのか、患者さんの状態を総合的に診断して、治療方針を決めなければならない。一番大切なことは本人に「適応があるかどうか」です。そのためにはインプラント専門医だけでなく、口腔外科、放射線科、病理学などいろいろな専門医の総合的な協力診断が必要です。私がインプラントを入れたときも、インプラント専門医だけでなく、麻酔医や内科医が心電図や血圧を測るなど全身管理をしながら行いました。そういう医療が今後ますます求められるでしょう。

田中 福岡歯科大学の教育には常に四つのモットーで臨んでいます。一つは、学生が社会から尊敬される歯科医師になるという意欲を持って勉強すること。二つ目は、同窓生が誇れる母校であること。三つ目は、地域の医療・保健・福祉に対する貢献。そのために医科歯科総合病院を開設し、特養、老健をつくりました。四つ目は、世界的レベルで歯科医学の発展のために貢献することです。このため中国の上海交通大学などとの国際交流を推進し、大学院の高度化・拡充も考えています。学術フロンティア研究センターも活発に運営されています。

目指すところは、知識や技術だけでなく、人間として信頼される歯科医であり、歯科衛生士であり、介護福祉士、そのために最も重要なのは、やはり人間形成だと考えて教育にも臨んでいます。

最後に、大学の使命である人材育成についてお聞かせください。

田中 福岡歯科大学の教育には常に四つのモットーで臨んでいます。一つは、学生が社会から尊敬される歯科医師になるという意欲を持って勉強すること。二つ目は、同窓生が誇れる母校であること。三つ目は、地域の医療・保健・福祉に対する貢献。そのために医科歯科総合病院を開設し、特養、老健をつくりました。四つ目は、世界的レベルで歯科医学の発展のために貢献することです。このため中国の上海交通大学などとの国際交流を推進し、大学院の高度化・拡充も考えています。学術フロンティア研究センターも活発に運営されています。

目指すところは、知識や技術だけでなく、人間として信頼される歯科医であり、歯科衛生士であり、介護福祉士、そのために最も重要なのは、やはり人間形成だと考えて教育にも臨んでいます。

最後に、大学の使命である人材育成についてお聞かせください。

田中 福岡歯科大学の教育には常に四つのモットーで臨んでいます。一つは、学生が社会から尊敬される歯科医師になるという意欲を持って勉強すること。二つ目は、同窓生が誇れる母校であること。三つ目は、地域の医療・保健・福祉に対する貢献。そのために医科歯科総合病院を開設し、特養、老健をつくりました。四つ目は、世界的レベルで歯科医学の発展のために貢献することです。このため中国の上海交通大学などとの国際交流を推進し、大学院の高度化・拡充も考えています。学術フロンティア研究センターも活発に運営されています。

目指すところは、知識や技術だけでなく、人間として信頼される歯科医であり、歯科衛生士であり、介護福祉士、そのために最も重要なのは、やはり人間形成だと考えて教育にも臨んでいます。

最後に、大学の使命である人材育成についてお聞かせください。

田中 福岡歯科大学の教育には常に四つのモットーで臨んでいます。一つは、学生が社会から尊敬される歯科医師になるという意欲を持って勉強すること。二つ目は、同窓生が誇れる母校であること。三つ目は、地域の医療・保健・福祉に対する貢献。そのために医科歯科総合病院を開設し、特養、老健をつくりました。四つ目は、世界的レベルで歯科医学の発展のために貢献することです。このため中国の上海交通大学などとの国際交流を推進し、大学院の高度化・拡充も考えています。学術フロンティア研究センターも活発に運営されています。

目指すところは、知識や技術だけでなく、人間として信頼される歯科医であり、歯科衛生士であり、介護福祉士、そのために最も重要なのは、やはり人間形成だと考えて教育にも臨んでいます。

最後に、大学の使命である人材育成についてお聞かせください。

企画・制作
西日本新聞社 広告局

目指せ歯学博士 さらに充実した大学院！ 特別奨学生制度を新設

福岡歯科大学大学院は昭和60年4月に開設され、第1期生として19名が入学しました。以降、現在までに本学の大学院を修了して歯学博士の学位を授与されたものは187名に上っています。(学位授与者は論文博士を含めて総数264名。)

歯科医療の発展と多様化の進む中、より高度な専門的知識や技術のニーズも高まっており、これに対応するためには大学院で学ぶことが最も効果的で、かつ必要だと思えます。

本学の大学院では、大学院生各人の研究テーマに沿った研究を各講座・分野の指導教員の下で行い、必要があれば学内外を問わず色々な研究施設と連携を取って研究することも出来ます。また、多岐にわたる研究を行なうための施設・設備として本学には多くの最先端機器

や西日本随一を誇るアニマルセンター、学術フロンティア研究センター等が整備されています。

大学院の修業年限は4年間になっていますが、本学では飛び級制度、即ち、研究の成果によっては3年間で修了することも可能です。

しかし、大学卒業後、臨床研修が義務化されている中、経済的な負担も結構重いものがあります。このため、本学では大学院生に対する経済的負担を軽減するための経済支援制度が設けられています。先ず授業料相当額が給付される大学院奨学生(10名以内)、年額27万円の手当てが支給されるリサーチアシスタント(約10名)とティーチングアシスタント(約15名)、さらに今年度から月額16万円が支給される特別奨学生(各学年3名、総数12名以内)制度が新設されました。この他、福岡歯科大学学生

共済会や日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金を申請することも出来ます。これによって随分と大学院への道も近くなったのではないでしょうか。さらに、海外での研究活動や学会発表のための助成制度もあります。

今後、専門医とともに学位(博士)の必要性も益々高まってきます。平成19年度大学院一次募集の出願受付は7月31日(月)から8月18日(金)まで、試験日は8月24日(木)です。

素早いご決断を!

※()内の人数は予定数。

問合せ先:福岡歯科大学 学務課 教務係
TEL:092-801-1885

E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp

秦 雄一郎氏の話 (4年・特別奨学生・リサーチアシスタント)

父親(矯正歯科医)の関係で在学中から矯正(何で歯が動くのか?)に興味がありました。研究と臨床の両立は大変だけど、やりがいはあります。指導していただいている先生方との人間的な絆は一生大切にしていきたいですね。親に負担をかけないためにも、今年は特別奨学生を狙っています。



石川教授の指導を受ける秦氏(左から2人目)ら大学院生

笹本 実氏の話 (4年・奨学生・リサーチアシスタント)

歯周に関心(歯科治療の土台は歯周にある)があったので入学しました。実験が忙しく、臨床は殆ど出来ませんでした。博士の方は論文を纏める段階に入りました。研究を通じて臨床に対する自信(論理的裏づけ)も多少出てきました。やり抜くという強い意思さえあれば、意義ある4年間になると思います。親には感謝しています。



歯周病関連細菌の遺伝子解析の実験を行う笹本氏

スタートした新医員制度

4月1日から、従来の病院医員及び研修医員を廃止し、身分を医員に一本化した新医員制度がスタートしました。新制度の特色の一つは、医員の職務として、臨床歯学の専門的知識や技術を研修し、診療に当たるだけでなく、教育・研究の補助業務にも従事するようになったこと。もう一つは、月額13~14万円(大学院卒は2万円を加算)が給与として支給され、処遇の改善が図られた

ことです。新制度の発足は、教育・研究の活性化や若手教員の人材育成につながるものと期待されています。

医員は臨床研修修了者が対象になります。定員は、各診療科ごとに(4~8名)定められた基本配置が68名、重点配置20名の合計88名です。身分は嘱託とし、3年を限度として更新することができます。

川中氏から飾壺

5月8日、福岡歯科大学4年生のご父兄・川中昭義氏(佐世保市)から教育指導のお礼として、飾壺(大花瓶)「牡丹と山鳥文」が寄贈されました。飾壺は、役員応接室に設置され、来客者の心を和ませ、目を楽しめています。



寄贈された飾壺

新評議員に横倉 県医師会長らを選任

1月開催の理事会において、落合恵市・施設課長が職員のうちから選ばれる福岡歯科学園評議員として選任されました。また、5月に開催された理事会において横倉義武・福岡県医師会会長が学識経験者から選ばれる同評議員として選任されました。任期は両評議員とも平成20年8月2日まで。

井上前教授らに 名誉教授の称号

7月6日、多年、福岡歯科大学に勤務し、教育学術上特に功績があったとして、井上廣・前歯科保存学分野教授、阿部興紀・前生化学分野教授、阿部公生・前生化学分野教授、宮崎光治・前生体工学分野教授の4氏に福岡歯科大学の名誉教授の称号が授与されました。

日本歯科放射線学会 第11回臨床画像大会を開催

日本歯科放射線学会第11回臨床画像大会(会長:湯浅賢治・画像診断学分野教授)が平成18年10月28日(土)から29日(日)に福岡県歯科医師会館(福岡市中央区)で開催されます。

大会テーマは、「悪性腫瘍と炎症性疾患の鑑別」。特別講演として、「悪性腫瘍のマクロ病理」(田中陽一先生:東京歯科大学市川総合病院臨床検査病理)、「臨床所見からみた悪性腫瘍と炎症性疾患の鑑別」(前田顕之先生:福岡歯科大学口腔腫瘍学分野)の2題が予定されています。

その他、一般演題発表や症例読影会が行われます。またサテライト研究会として「Oral Medicine and IVR研究会」と「RI研究会」が計画されています。

問合せ先

福岡歯科大学画像診断学分野

香川 豊宏 TEL:092-801-0411

学術フロンティア 研究報告会

4月26日、本館8階第3会議室で学術フロンティア研究報告会が開催され、8つの研究成果の報告が行われました。学術フロンティア研究センターでは、『疾患における遺伝的、環境的要因の相互作用とその制御』のテーマで活発な研究が行われています。この報告会は分担研究者が各自の研究の成果を発表するもので、隔月に開催されており今回は平成17年度の最終の報告会でした。



質問に答える関口睦夫センター長

共用試験 (OSCE、CBT)を実施

5年生104名が、7月2日OSCE(客観的臨床能力試験)、7月7日HCBT(コンピューターで出題する試験)を受験しました。この二つの試験は歯学部学生が診療参加型臨床実習を行うにあたって必要な知識、態度、技能を備えているかを客観的に評価するため、全国の歯科大学・歯学部が共同で実施する統一試験です。今年度は、初の本格実施ということで、受験生は緊張の面持ちで二つの試験に臨んでいました。



注意事項を聞くCBT受験者

《平成18年度 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 科学研究費補助金決定一覧表》

研究種目	所属講座	職名	氏名	決定額 (単位:千円)	研究課題
特定領域	細胞分子生物学	助教授	山崎 純	2,100	Ca ²⁺ 活性化Cl ⁻ 輸送に働くトランスポートソームの分子構成と生理機能
基礎研究(B)	咬合修復学	助教授	松浦 尚志	1,700	インプラント-骨界面構造の形成と維持のメカニズム
	咬合修復学	教授	佐藤 博信	2,400	顎骨骨質診断法開発のための基礎的研究
	歯科医療工学	助教授	福島 忠男	2,800	ゲル化DNA/人工脂質複合体を素材にした再生医療用scaffold材の開発
	咬合修復学	教授	松浦 正朗	2,500	再生医療を応用した感染インプラントのリカバリー-再骨結合の評価-
	口腔・顎顔面外科学	教授	大関 悟	2,900	口腔扁平上皮癌に対する個別化制限増殖型遺伝子治療法を目指した基礎的研究とその応用
	学術フロンティア研究センター	教授	関口 睦夫	8,600	哺乳動物細胞におけるRNAの品質管理機構
	機能生物化学	教授	上西 秀則	700	カンジダアルビカンスから得られた新規水溶性物質の神経栄養・保護作用に関する研究
	生体構造学	講師	大野 信	1,100	樹状細胞ワクチン法を導入した特異的GVT療法での口腔がんへの応用
	咬合修復学	助教授	城戸 寛史	800	透明プラスチックインプラントの開発および骨結合の3次元微細構造の解析
	成長発達歯学	教授	石川 博之	500	矯正力による歯根膜微小血管の機能的変化と歯周組織変化との対応
総合歯科学	助教授	米田 雅裕	900	混合感染による病原性増強の機序とT.forsythusの役割の解析	
医療人間学	教授	壬生 正博	400	12-13世紀夢文学とその創作基調を成す聖書思想との比較研究	
総合医学	助教授	堺 孝明	1,200	疾病管理および予防医学への先行投資による経済効果	
基礎研究(C)	細胞分子生物学	助手	鍛冶 屋浩	1,200	CLC7点変異が誘発する破骨細胞Cl ⁻ 輸送障害と骨大理石病の相関解析
	細胞分子生物学	助教授	山崎 純	700	塩素イオン透過機能を持つ新規rCLCA分子の唾液腺における局在と生理機能の解明
	診断・全身管理学	助手	湯浅 賢治	1,300	顎関節リウマチに対するオーダーメイド画像診断システムの開発
	診断・全身管理学	助手	瀬々 良介	900	MRILによる痛みの画像化-顎関節症における咀嚼筋について-
	口腔治療学	教授	坂上 竜資	900	ブラキシズムに起因する歯痛の疫学的調査と診断ガイドラインの作成
	歯科医療工学	助手	川口 稔	1,000	カーボンナノチューブ/アルギン酸ナノコンポジットによる再生医療用バイオゲルの開発
	口腔治療学	助教授	永井 淳	600	歯周ポケット細菌の網羅的検索と病態特異的な菌種の定量的検出
	細胞分子生物学	教授	北村 憲司	1,400	平滑筋細胞におけるT型カルシウムチャネルの生理学的意義
	生体構造学	教授	佐藤 敦子	1,800	唾液腺主導管上皮の機能的・形態的解析-VIII主導管上皮における味覚受容体の発現-
	生体構造学	助教授	岡村 和彦	800	カルシウム活性化クローロイドチャネルの局在と病態への関与
萌芽研究	細胞分子生物学	講師	岡本 富士雄	1,500	Ca ²⁺ 透過性陽イオンチャネル(TRP)による破骨細胞の分化制御機序の解明
	細胞分子生物学	助手	岡部 幸司	2,100	破骨細胞の骨吸収に関わるNa ⁺ /Ca ²⁺ 交換輸送体(NCX)の分子同定と機能解析
	診断・全身管理学	助手	香川 豊宏	1,100	インタラクティブアニメーションを使用した自己開発型教育システムの開発
	総合歯科学	教授	廣藤 卓雄	1,700	高齢者・障害者における口腔内細菌混合感染と全身性疾患に関する研究
	※歯科衛生学	教授	升井 一朗	1,100	自己組織化マップによる側貌の審美的調和を包含した顎矯正手術計画支援システム
	口腔保健学	助教授	筒井 昭仁	600	オーラルヘルスプロモーションが全身疾患のリスク指標改善に及ぼす影響の評価
	口腔保健学	助教授	金崎 信夫	700	喪失した歯の情報を長期追跡研究に反映させるための統計手法の開発
	咬合修復学	教授	佐藤 博信	600	審美的・機能的歯肉獲得法開発のための生物学的研究
	口腔・顎顔面外科学	教授	大関 悟	1,200	扁平上皮癌標的分子の特異的発現機構に基づく個別化治療法の開発を目指した基礎的研究
	口腔保健学	教授	埴岡 隆	1,400	口腔を起点とした全身の健康支援のための歯周貯留液検査
放射線室	咬合修復学	講師	石川 昌嗣	500	咀嚼筋機能異常における低反応レベルレーザー照射の影響
	放射線科	講師	市原 隆洋	900	放射線科におけるインフォームド・コンセント支援の為にナビゲーションツールの開発
	咬合修復学	講師	松永 興昌	600	インプラント周囲軟組織の術前診断法の開発
	咬合修復学	助手	生山 隆	900	床用レジンに接着した各種裏装用レジンの曲げ強さに及ぼす酢酸エチルの表面処理効果
	咬合修復学	助手	長島 義之	1,000	間葉系幹細胞による再生骨の分子生物学的評価
	咬合修復学	講師	都築 尊	1,600	咬合性外傷歯の非外科的修復方法の開発
	口腔・顎顔面外科学	助手	多田 剛之	1,900	口腔扁平上皮癌による顎骨浸潤メカニズムの解明と顎骨浸潤モデルの確立
	総合歯科学	助手	日高 圭太郎	900	hTERTにおける選択的スプライシングとテロメラーゼ活性の発現抑制
	診断・全身管理学	助手	野上 聖太郎	1,500	歯科麻酔学専用のインタラクティブ自己学習システムの開発
	口腔遠隔科	医員	鈴木 薫	900	ヒト唾液腺腫瘍の遊走能におけるケモカインレセプターの役割
若手研究(B)	成長発達歯学	助手	川鍋 仁	2,100	サイトカインの応用による口蓋形成手術後の上顎骨成長抑制の緩和
	成長発達歯学	講師	久永 豊	1,100	歯根膜毛細血管網の微細構造解析による破骨細胞出現条件の検討
	成長発達歯学	助手	寺谷 烈	2,000	光学的手法を用いたタッピング運動時の歯周組織の動的応力解析
	細胞分子生物学	助員	福島 秀文	2,300	乳歯歯根膜における生理的歯根吸収調節因子の同定
	小児歯科	医員	杉本 あゆみ	2,900	ミニチュア歯科診療室を用いた小児と歯科医師との信頼関係に関する研究
	合計		49件	72,300	※は福岡医療短期大学、他は福岡歯科大学

福岡歯科大学公開講座

日時:平成18年9月9日(日)13:00~16:00
場所:福岡県歯科医師会館(福岡市中央区)

福岡歯科大学・医科歯科総合病院に昨年新たに開設された「心療内科」を地域の皆さん方に紹介するとともに、口と心の密接な関係を知ってもらおうと今回の公開講座を計画しました。

テーマ:お口の痛みと心の健康

- ①「舌が痛くなる病気一覧(口腔外科の立場から)」
口腔外科 教授 池邊哲郎
- ②「痛みをコントロールする(麻酔科・ペインクリニックの立場から)」
麻酔科・ペインクリニック 教授 谷口吾吾
- ③「歯科心身症の成り立ちと治し方(心療内科の立場から)」
心療内科 教授 稲光哲明

問合せ先:福岡歯科大学 企画課
TEL:092-801-0411
E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp

福岡医療短期大学公開講座

日時:平成18年9月10日(日)13:00~16:15
場所:福岡医療短期大学 307講義室

福岡医療短期大学では、地域社会との連携および歯科衛生士・介護福祉士の生涯研修の場として公開講座を毎年開催しています。

テーマ:“食べる”を考える—もう一度、食事を見直そう!—

- I.講演
「—今、なぜ食育か—」
講師:福岡医療短期大学 教授 日高三郎
- II.基調講演1
「—子どもたちに伝えたい和食のおいしさ—」
講師:檜山塾 檜山タミ
- III.基調講演2
「—マクドナルド 食育の取り組み—」
講師:日本マクドナルド株式会社 CSR部部長 岩崎 優
- IV.総合討論
司会:福岡医療短期大学 教授 高瀬文広
問合せ先:福岡医療短期大学 公開講座委員会
TEL:092-801-0923
E-mail:koukai06@college.fdcnet.ac.jp

健康まるごと福岡歯科学園

日時:平成18年10月28日(土)・29日(日)
場所:福岡歯科大学

内容:福岡歯科学園では、医療・保健・介護だけでなく、より広い分野での地域貢献を果すため、「健康まるごと福岡歯科学園」を開催します。

- 「田の歯科祭」楽しいステージをお届けします。バザーもよろしく!
- 講演会 ○からだの科学展
- 医科・歯科・介護無料相談 ○介護施設見学
- 歯ッピークイズ大会&手話ソング



昨年の「からだの科学展」入口

歯の無料相談

歯の衛生週間にちなみ、本年度で34回目となる「歯の無料相談」が6月4日(日)に、西新エルモールプラリバ(旧西新岩田屋、早良区西新)で開催されました。会場では、福岡歯科大学医科歯科総合病院の歯科医師や歯科衛生士が歯や口腔に関する市民の相談に応じました。

相談内容はさまざまでしたが、多くは虫歯、歯周病、歯並びや入れ歯などで、かかりつけ医師から受けた診断や治療方針について、セカンドオピニオンとして相談するケースも目立ちました。相談者は1日だけで160名にも上りました。



東釜山大学学生が来学

4月27日、東釜山大学歯衛生科33名が福岡医療短期大学を訪問、歯科衛生学科の学生と交流会を行い、本学の学生代表 増田貴子君は、韓国語で歓迎の挨拶をしました。交流は今回で3回目となり、E-mailアドレスの交換をするなど、回を重ねるごとに両校の学生の親睦は深まっています。



海外研修派遣

【福岡歯科大学】

所属分野	職名	氏名	研修課題	派遣先	派遣期間
口腔腫瘍学 口腔外科学	教授 助手	大関 悟 根木 慎太郎	ヤンゴン歯科大学との大学間姉妹提携の会議ならびにミャンマーにおける医療援助活動、技術指導及び学術調査	ヤンゴン、 マンダレー、ピイ (ミャンマー)	自:18. 4.28 至:18. 5. 6
育成小児歯科学	助教授	尾崎 正雄	第5回アジア小児歯科学会にて発表	高雄 (台湾)	自:18. 6.22 至:18. 6.25
有床義歯学	教授	高橋 裕	①84th General Session & Exhibition of the IADRにて発表 ②NU Biological Materials Seminar & Meetingに参加	ブリスベン (オーストラリア)	自:18. 6.24 至:18. 6.30
麻酔管理学 麻酔科 (ペインクリニック)	助教授 医員	真鍋 庸三 岩本 繁	84th General Session & Exhibition of the IADRにて発表	ブリスベン (オーストラリア)	自:18. 6.26 至:18. 7. 2
機能構造学	助手	八尋 純子	84th General Session & Exhibition of the IADRにて発表	ブリスベン (オーストラリア)	自:18. 6.26 至:18. 7. 2
有床義歯学	大学院	小袋 基史	84th General Session & Exhibition of the IADRにて発表	ブリスベン (オーストラリア)	自:18. 6.26 至:18. 7. 2
有床義歯学	大学院	津江 文武	84th General Session & Exhibition of the IADRにて発表	ブリスベン (オーストラリア)	自:18. 6.26 至:18. 7. 2
機能構造学	教授	沢 禎彦	84th General Session & Exhibition of the IADRにて発表	ブリスベン (オーストラリア)	自:18. 6.27 至:18. 7. 1
口腔健康科学	教授	埴岡 隆	1.84th General Session & Exhibition of the IADR シンポジウムにて発表 2.同学会のIADR ad hoc committee against tobacco委員会会議に出席	ブリスベン (オーストラリア)	自:18. 6.27 至:18. 7. 1
総合歯科学	講師	内藤 徹	第5回EuroPerio(ヨーロッパ歯周病学会)にて発表	マドリッド (スペイン)	自:18. 6.27 至:18. 7. 3
細胞生理学	教授 助手	岡部 幸司 鍛冶屋 浩	第28回アメリカ骨代謝学会にて発表	フィラデルフィア (アメリカ)	自:18. 9.14 至:18. 9.21
冠橋義歯学	大学院	徳富 健太郎	留学【老化促進マウス(SAM)の顎骨および大腿骨の形態計測学的分析とコラーゲン定量分析、架橋構造分析】	ノースカロライナ大学 (アメリカ)	自:18. 7. 1 至:18. 9.30

【福岡医療短期大学】

所属	職名	氏名	研修課題	派遣先	派遣期間
保健福祉学科	教授	高瀬 文広	映像英語教育学会第10回研究大会出席	ソウル (韓国)	自:18. 4.21 至:18. 4.23

平成17年度事業報告及び決算

学校法人福岡歯科学園の事業報告及び決算が、5月23日開催の評議員会、理事会で承認されましたので、その概要について説明いたします。

事業報告

福岡歯科学園は、建学の精神に則り、学生のため真に実効のある教育を行い、高度の専門的能力と厳しい職業的倫理観、豊かな人間性を備えた有能な歯科医師、歯科衛生士、介護福祉士を養成するため、昨年に引き続き改革を進める必要があります。また、高齢化社会における地域医療への寄与、歯科医学の進歩への貢献を積極的に進めることも重要です。

本学園としては、引き続き健全な財政運営を行い、長期的な展望のもとに経営の安定化を図りつつ、教育・研究・診療の更なる活性化を進めるものとし、平成16年度を初年度とする「福岡歯科学園の中期構想」を平成17年11月から改訂して、その実現に努め、「世界の福岡歯科大学」を目指します。平成17年度の主な事業は次のとおりです。

1. 口腔医学の確立

口腔医学としての学問体系を確立し、社会、学界、医療界の理解、協力を得るため、医療は一つであるという基本概念に基づいて、「福岡歯科大学の将来構想(案)」をとりまとめ、福岡県歯科医師会会長等からの意見聴取を開始しました。

2. 認証評価機関による第三者評価

- (1) 福岡歯科大学は、平成18年度に二つの認証評価機関の認証評価を受審するため、大学基準協会へは、3月30日に認証評価にかかる点検・報告書等を提出。また、日本高等教育評価機構の実地調査日は、平成18年9月26日から28日に決定しました。
- (2) 福岡医療短期大学では、認証評価機関による第三者評価を平成19年度に受けるとし、「自己点検・評価報告書(2003～

2006)」の作成に着手しました。

3. 教員組織の改組、教員の重点配置等

福岡歯科大学では、大講座制を更に強化し、医科の充実を図るため、総合医学講座に心療内科学分野を新設するとともに、教育、診療の現状を勘案し、歯科保存学、歯周病学、冠橋義歯学、有床義歯学分野の助手定数を各1名(計4名)増員し、重点配置教員の定数を4名減員することに伴い「福岡歯科大学教員選考規程」を改正しました。

4. 教育の改善等

- (1) 福岡歯科大学では、「実習を重視した6年一貫歯学教育」に沿って、教育カリキュラムの見直しをカリキュラムFD小委員会で行い、教授会の承認を得て平成18年度第1学年から順次適用することになりました。
- (2) 福岡医療短期大学歯科衛生学科では、歯科予防処置実習および歯科診療補助実習の効率化と充実に努め、歯科診療実習室に歯科診療台を2台増設するとともに、マネキン実習室にマネキンを18台増設しました。保健福祉学科では、学外実習の効率的、効果的実施に向け実習施設の充実・強化に取り組み、6施設を新規実習施設として追加申請を行いました。

5. 研究の活性化等

- (1) 大学院活性化策として、平成18年度から大学院に特別奨学生制度を新設するため「福岡歯科大学大学院奨学規程」を改正しました。
- (2) 平成17年度科学研究費補助金として、福岡歯科大学は50件の研究テーマが採択され、78,700千円の補助金が、福岡医

療短期大学は4件が採択され、3,500千円の補助金がそれぞれ交付されました。

6. 国際交流の促進

- (1) 福岡歯科大学では、平成17年4月に慶熙大学校歯医学専門大学院(韓国)と姉妹校協定を締結しました。
- (2) 福岡医療短期大学では、東釜山大学歯衛生科と双方の訪問を行い、学生間の相互交流を行いました。

7. 病院拡充等

- (1) 心療内科を開設するとともに、患者様サービスの一環として、2月から、自動再来受付機、カルテ自動検索機を導入、再来受付を自動化し、カルテ庫の拡充・整備を行いました。
- (2) 歯科医師臨床研修必修化に伴い、臨床研修歯科医の処遇、定員等を規定した「福岡歯科大学医員規則」を決定しました。

8. 老朽化した教育・研究・診療の施設・設備の更新

福岡歯科大学では、学内施設の吹き付けアスベスト等の調査の結果、講堂や901講義室等から微量のアスベストが検出(空気中の濃度は環境省の安全基準値以下)されたため、検出箇所を立ち入り禁止とするとともに、除去工事を平成17年12月から開始、翌年2月に工事は完了しました。

9. 福岡医療短期大学の充実

平成18年1月、短期大学卒業生への学位(短期大学士)授与に係る学校教育法の改正に伴い「福岡医療短期大学学則」を改正するとともに、「福岡医療短期大学学位規程」を制定しました。

平成17年度(第34期)決算の概要

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対するすべての資金の収支を明らかにするものです。一方、消費収支計算書は、民間企業の損益計算書に該当するもので、財政の健全化を測定する尺度となります。貸借対照表は、学園の当該会計年度末の資産及び負債・基本金・消費収支差額の状況を表すものです。また、財産目録は、貸借対照表と同じで当該会計年度末の資産及び負債の状況を表すものですが、資産の部を基本財産と運用財産に区分して表示していることと、建物等の減価償却対象資産の表示金額が取得額となっていることです。

平成17年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

1. 資金収支計算書

収入の部は、学生生徒等納付金収入等で68億6,383万円の収入合計額になります。これに前年度繰越支払資金18億3,202万円を加えると収入の部合計額は86億9,585万円になりました。

支出の部では、人件費支出34億3,948万円と教育研究経費支出10億9,998万円等

支出小計額は65億8,850万円になりました。

以上、収入の部合計額から支出合計額を差し引いた次年度繰越支払資金は、21億735万円になりました。

2. 消費収支計算書

消費収入の部は、学生生徒等納付金等で帰属収入合計額は68億4,410万円になりました。これから本館・病院改修資金としての第2号基本金及び奨学基金、学術振興基金の第3号基本金等の基本金組入額16億6,522万円を差し引いた消費収入の部合計額は51億7,888万円になりました。

消費支出の部は、人件費、教育研究経費等で51億8,295万円になりました。

以上、消費収入の部合計額から消費支出の部合計額を差し引いた消費収支差額は、407万円の当年度消費支出超過額になり、これに前年度繰越消費収入超過額41億8,350万円と、除却超過による基本金取崩額13万円を合計した翌年度繰越消費収入超過額は41億7,956万円になりました。

3. 貸借対照表

資産の部合計は、第3号基本金引当資産

等の組入れ等より、資産総額は487億1,087万円になり、前年度に比較し16億7,151万円の増になりました。

負債の部合計は、退職給与引当金等で39億7,980万円になり、前年度に比較し1,036万円の増になりました。

基本金の部合計は、前年度に比べ16億6,509万円増加し、405億5,151万円になりました。

資産の部合計から負債の部合計及び基本金の部合計を差し引いた消費収支差額の部合計は41億7,956万円になりました。

4. 財産目録

資産の部は、土地、建物等の基本財産305億7,605万円と減価償却引当特定資産等の運用財産181億3,482万円の合計で487億1,087万円となりました。

負債の部合計は、39億7,980万円で、資産の部合計額、負債の部合計額とも貸借対照表の合計額と一致しています。

資産の部合計から負債の部合計を差し引きました差引正味財産は447億3,107万円になり、前年度に比べ16億6,115万円の増になりました。

平成17年度(第34期)資金収支決算総括表

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算		決 算		差 異 金額
	金額	構成比%	金額	構成比%	
学生生徒等納付金収入	3,664,515,000	57.44	3,667,840,000	53.44	△3,325,000
手数料収入	36,900,000	0.58	39,179,960	0.57	△2,729,960
寄附金収入	13,465,000	0.21	27,452,877	0.40	△13,987,877
補助金収入	440,620,000	6.91	444,377,500	6.47	△3,757,500
資産運用収入	635,820,000	9.97	702,086,335	10.23	△66,266,335
事業収入	1,417,810,000	22.23	1,678,206,178	24.45	△260,396,178
雑収入	146,126,000	2.29	246,644,946	3.59	△100,518,946
前受金収入	712,050,000	11.16	834,183,000	12.15	△122,133,000
その他の収入	472,339,000	7.40	478,026,144	6.96	△5,687,144
資金収入調整勘定	△1,160,338,000	△18.19	△1,254,162,795	△18.26	93,824,795
(小計)	(6,379,307,000)	(100.00)	(6,863,834,145)	(100.00)	(△484,527,145)
前年度繰越支払資金	1,832,018,000		1,832,018,607		△607
収入の部合計	8,211,325,000		8,695,852,752		△484,527,752

科目	予 算		決 算		差 異 金額
	金額	構成比%	金額	構成比%	
人件費支出	3,481,940,000	52.12	3,439,475,569	52.20	42,464,431
教育研究経費支出	1,169,986,000	17.51	1,099,978,978	16.70	70,007,022
管理経費支出	226,161,000	3.39	201,552,400	3.06	24,608,600
借入金等返済支出	0	0.00	0	0.00	0
施設関係支出	19,360,000	0.29	14,970,000	0.23	4,390,000
資産運用支出	1,591,500,000	23.82	1,796,243,030	27.26	△204,743,030
その他の支出	344,495,000	5.16	395,181,585	6.00	△50,686,585
[予備費]	(128,050,000)				
	171,950,000	2.57			171,950,000
資金支出調整勘定	△459,500,000	△6.88	△532,958,341	△8.09	73,458,341
(小計)	(6,680,636,000)	(100.00)	(6,588,496,938)	(100.00)	(92,139,062)
次年度繰越支払資金	1,530,689,000		2,107,355,814		△576,666,814
支出の部合計	8,211,325,000		8,695,852,752		△484,527,752

平成17年度(第34期)消費収支決算総括表

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算		決 算		差 異 金額
	金額	構成比%	金額	構成比%	
学生生徒等納付金	3,664,515,000	57.57	3,667,840,000	53.59	△3,325,000
手数料	36,900,000	0.58	39,179,960	0.57	△2,279,960
寄附金	23,465,000	0.37	65,767,881	0.96	△42,302,881
補助金	440,620,000	6.92	444,377,500	6.49	△3,757,500
資産運用収入	635,820,000	9.99	702,086,335	10.26	△66,266,335
事業収入	1,417,810,000	22.27	1,678,206,178	24.52	△260,396,178
雑収入	146,126,000	2.30	246,644,946	3.61	△100,518,946
(帰属収入合計)	(6,365,256,000)	(100.00)	(6,844,102,800)	(100.00)	(△478,846,800)
基本金組入額合計	△1,654,854,000		△1,665,218,350		10,364,350
消費収入の部合計	4,710,402,000		5,178,884,450		△468,482,450

科目	予 算		決 算		差 異 金額
	金額	構成比%	金額	構成比%	
人件費	3,473,587,000	61.68	3,316,909,213	64.00	156,677,787
教育研究経費	1,680,168,000	29.84	1,624,249,038	31.34	55,918,962
管理経費	257,954,000	4.58	234,706,448	4.53	23,247,552
資産処分差額	0	0.00	7,089,181	0.14	△7,089,181
[予備費]	(80,300,000)				
	219,700,000	3.90			219,700,000
(消費支出の部合計)	(5,631,409,000)	(100.00)	(5,182,953,880)	(100.00)	(448,455,120)
当年度消費支出超過額	921,007,000		4,069,430		
前年度繰越消費収入超過額	4,183,498,000		4,183,498,076		
基本金取崩額	0		127,280		
翌年度繰越消費収入超過額	3,262,491,000		4,179,555,926		

貸借対照表

平成18年3月31日

科目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
固定資産	[46,127,499,798]	[44,658,363,973]	[1,469,135,825]
有形固定資産	(10,727,030,309)	(11,053,135,318)	(△326,105,009)
土地	2,853,955,052	2,856,199,221	△2,244,169
建物	4,798,380,182	5,028,478,268	△230,098,086
構築物	259,065,086	266,617,264	△7,552,178
教育研究用機器備品	1,420,249,238	1,547,084,043	△126,834,805
その他の機器備品	22,653,737	23,520,903	△867,166
図書	1,364,373,505	1,319,444,629	44,928,876
車	8,353,509	11,790,990	△3,437,481
その他の固定資産	(35,400,469,489)	(33,605,228,655)	(1,795,240,834)
電話加入権	1,705,991	1,705,991	0
敷金保証金	17,850,000	17,850,000	0
有価証券	1,142,230,100	937,487,070	204,743,030
長期貸付金	1,203,398	2,205,594	△1,002,196
退職給与引当特定資産	2,250,500,000	2,250,500,000	0
減価償却引当特定資産	8,946,000,000	8,946,000,000	0
施設整備充実引当特定資産	3,100,000,000	3,100,000,000	0
第2号基本金引当資産	5,800,000,000	5,200,000,000	600,000,000
第3号基本金引当資産	13,720,980,000	12,729,480,000	991,500,000
第4号基本金引当資産	420,000,000	420,000,000	0
流動資産	[2,583,374,328]	[2,381,004,133]	[202,370,195]
現金預金	2,107,355,814	1,832,018,607	275,337,207
未収入金	410,424,387	465,469,213	△55,044,826
貯蔵品	4,007,064	15,076,623	△11,069,559
短期貸付金	1,002,196	6,277,423	△5,275,227
前払金	60,584,867	62,162,267	△1,577,400
資産の部合計	48,710,874,126	47,039,368,106	1,671,506,020

1.重要な会計方針

(1)引当金の計上基準

退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額2,906,220,400円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。

徴収不能引当金

未収入金等の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

負債の部

科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	[2,460,235,002]	[2,582,801,358]	[△122,566,356]
長期借入金	0	0	0
退職給与引当金	2,457,703,914	2,580,270,270	△122,566,356
長期預り金	2,531,088	2,531,088	0
流動負債	[1,519,565,440]	[1,386,641,984]	[132,923,456]
短期借入金	0	0	0
未払金	502,283,190	306,622,014	195,661,176
前受金	834,183,000	843,738,408	△9,555,408
預り金	183,099,250	236,281,562	△53,182,312
負債の部合計	3,979,800,442	3,969,443,342	10,357,100

基本金の部

科目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	20,610,537,758	20,536,946,688	73,591,070
第2号基本金	5,800,000,000	5,200,000,000	600,000,000
第3号基本金	13,720,980,000	12,729,480,000	991,500,000
第4号基本金	420,000,000	420,000,000	0
基本金の部合計	40,551,517,758	38,886,426,688	1,665,091,070

消費収支差額の部

科目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	4,179,555,926	4,183,498,076	△3,942,150
消費収支差額の部合計	4,179,555,926	4,183,498,076	△3,942,150

科目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	48,710,874,126	47,039,368,106	1,671,506,020

2.重要な会計方針の変更等

(1)会計処理及び表示方法の変更

「学校法人会計基準」(文部省令第18号)の改正に伴い、当会計年度から改正後の基準によっている。なお、この変更により、従来と同一の方法による場合と比較して基本金組入額が42,167,784円減少し、当年度消費収入超過額が同額増加している。また、基本金取崩額が127,280円増加している。

3.減価償却額の累計額の合計額

10,029,460,126円

51,530,498円

4.翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

5.その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1)関連当事者との取引

記載すべき関連当事者との取引はない。

財産目録総括表

平成18年3月31日現在

資産の部	金額
I.基本財産	30,576,054,794
固定資産	30,576,054,794
(1)有形固定資産	10,633,368,803
(2)その他の固定資産	19,942,685,991
II.運用財産	18,134,819,332
1.固定資産	15,551,445,004
(1)有形固定資産	93,661,506
(2)その他の固定資産	15,457,783,498
2.流動資産	2,583,374,328
資産の部合計	48,710,874,126

負債の部	金額
I.固定負債	2,460,235,002
退職給与引当金	2,457,703,914
長期預り金	2,531,088
II.流動負債	1,519,565,440
未払金	502,283,190
前受金	834,183,000
預り金	183,099,250
負債の部合計	3,979,800,442
差引正味財産	44,731,073,684
負債の部合計及び差引正味財産合計	48,710,874,126

(単位:円)

保護者からのメッセージ

FROM PARENTS



川中 昭義 = 文
福岡歯科大学保護者

「この頃、思うこと」

私の娘が福岡歯科大学に入学して早4年目を迎えます。本学の高度な教育理念に基づいたご指導を受け、本人もそれに応える為一生懸命頑張っているようです。また多くの良き友達に恵まれ、勉学やスポーツにと楽しい学園生活を過ごしていることが親として大変喜ばしく思います。この様に充実した学生生活を送れるのも諸先生方のご指導の賜物だと深く感謝いたしております。

さて、私は自衛隊勤務で、給食業務を担当しておりますが、艦艇勤務時は、時間に追われ味わって食事をした記憶がありません。食事にある程度の時間をかけ咀嚼すると、唾液アミラーゼや唾液アミラーゼが良く混ざり、消化吸収の手助けになります。しかし、高齢になり総入れ歯の場合、健康な歯に対して20～40%程度の咀嚼率しか望めないようです。昨年、西日

本食品材料ソフト技術展での話によると、お年寄りに完全にペースト化した食品を供しても満足度を与えることが出来ないで、半ペースト状にするとある程度の満足度を得ることが出来たと言うことです。これは咀嚼による感覚的な満足感がもたらしたことでないかと思われまます。

何時までも美味しく食事を味わう為には、健康な歯でいたいものです。それと同時に健康な歯はあらゆる意味で健康な体を作り、それに基づいて健康な心も作られていくものだと思います。つまり歯科医師とは人の幸せの源を作る職業であることを「娘の学び」と「私の体験」から気づかせて頂きました。人様の幸せ作りのお手伝いが出来る職業を目指していることに誇りを持ち、我が娘だけではなくこの歯科大で学んでおられる多くの若者たちに声援を送りたいものです。



中川 武文 = 文
福岡医療短期大学保護者

「心づくして」

私が福岡市内から今の鹿児島県の片田舎に移転開業して丸5年がたちました。他の過疎地同様、高齢者が非常に多い地域です。

まだ方言もちんぷんかんぷんだった開業して間もないある日、玄関に筍がどっさり袋に入れて下げてある。しかも灰汁抜きをして。これはどうしたものかと周りの人に聞いたら、どうやら患者さんが名も告げずに置いていったもので時々あることらしい。最近頼りに耳になくなった謙譲の美徳の最たるものではないかと思いました。以来、私も「患者さんに診せてもらっている」「私が作った義歯を使ってもらっている」という気持ちを忘れずに診療するようにしています。最近ではそう思うことでかえって肩の力が抜けて自然体で診療できるようになった気がします。「調子が悪いときはいつでも診せて下さいね。足の具合が良くないなら、こちらか

ら伺ってもいいですよ。」の一言のほうが情報提供という紙切れ一枚渡すより余程心が通じ合うと思います。

この原稿を書くにあたり、自分の子供を含め医療関係の仕事を目指す若い人達に何を伝えたいかと考えたとき、浮かんでくるのは医療界の厳しい現状ばかりでした。この現状を打開する為にも皆さんにとって大事なものは、広い知識と教養を深め、高い技術を身につけ、できるかぎり患者さんのニーズに応え、QOLを向上させることだと思います。学生の時にはなかなか見えないかもしれませんが、資格を持った皆さんの登場を期待をこめて待ち望んでいる人がたくさんいるのです。どうかそのことを忘れずに学生生活を送ってもらいたいと思います。そして将来、患者さんと向き合ったときに心にこの一言を——「拜見いたします」。

父兄後援会支部懇談会開催

平成18年度の福岡歯科大学父兄後援会支部懇談会が下記日程のとおり全国17会場で開催されます。各支部の総会のほか、大学からの近況報告、父兄との個別面談や意見交換などが行われます。

支部懇談会日程表

支部名	実施月日
熊本県	7月29日(土)
佐賀県	7月29日(土)
福岡県東部	7月30日(日)
鹿児島県	7月30日(日)
山口県	7月30日(日)
福岡県中央	8月5日(土)
宮崎県	8月5日(土)
大分県	8月6日(日)
福岡県南部	8月6日(日)
福岡市	8月6日(日)
沖縄県	8月12日(土)
中部・東海・関東・東日本	8月12日(土)
北九州	8月19日(土)
四国	8月19日(土)
長崎県	8月20日(日)
広島県・岡山県・山陰	8月20日(日)
近畿	8月20日(日)

国家試験に向けて！ 6年生激励会

5月10日、本館学生食堂で歯科医師国家試験に向けて激励会が開催され、本田大学長、田中理事長、今泉父兄後援会会長らは6年生に対し激励の言葉を贈りました。このあと学生は助言教員と会食・懇談を行い、最後に6年生を代表して今泉亮君がお礼を述べ、学生・教員共に国家試験への決意を新たにしました。



助言教員からアドバイスを受ける学生

短大教員、父兄後援会 役員等と懇談

6月14日、福岡医療短期大学教員、父兄後援会役員、本学園役員などによる、意見交換や親睦を目的とした懇談会が開催され、和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。

学友会総務委員長、再選挙

福岡歯科大学学友会は、平成18年度総務委員長予定者の辞退により、4月17日再選挙を行いました。投票の結果、総投票数587票中510票(87%)の信任票を獲得した5学年坂井拓弥君が総務委員長に選出されました。任期は1年間。



From The Alumni Association

同窓会だより

■平成18年 第3回福岡県三大学合同学術講演会を開催 福岡歯科大学・九州歯科大学・九州大学歯学部同窓会合同主催

平成18年3月19日(日)、福岡市の都久志会館で第3回福岡県三大学合同学術講演会が開催されました。これは3年に1度、福岡歯科大学、九州歯科大学、九州大学歯学部の同窓会が合同で主催するもので、今年も福岡歯科大学が担当となり、「歯科医療再生への提言—その可能性と戦略—」というテーマで、講師に東京医科歯科大学大学院医療経済学教授の川淵孝一先生、口腔研クリニック(旧渋谷病院)名誉院長の飯塚哲夫先生、そして座長に東京医科歯科大学歯学部臨床教授



講師の皆さん(左から、柏田先生、川淵先生、飯塚先生)

の柏田聰明先生をお招きして行いました。

歯科医療白書(2003年度)には1981年からの16年間で医師と歯科医師の所得が100対100から100対52になったと記してあります。ここ10年の間、歯科医療費は約2兆5千億円のまま横ばいです。しかしその間医科は6兆円増加し、薬科は3兆6千億円に達し、歯科を上回りました。福岡県の開業医の場合、1994年と比較して年収で900万円減というデータもあります。これは見方によっては歯科は国民総医療費の高騰に歯止めをかけ、むしろ医療費抑制に貢献しているとも言えますが残念ながらこういう事実は国民に知らされず、日歯贈収賄事件により社会的にはまったく悪役になってしまいました。

この現実を変えるためには国民の口腔の健康を守るという我々の役割を分析し、そのエビデンスを持って国民に理解を得る戦略が必要です。川淵教授には医療経済学という観点から歯科医療を様々なデータによって解析し

ていただきました。現在の歯科医療に下された低評価については、我が国において歯科医師という職業が形成された歴史、歯科医師とは、歯科医療とはなにか、という観点から答への糸口を飯塚先生に解説していただきました。

参加していただいたおよそ180名の方々は、この講演会の直後の2006年4月の保険改定の中身を見て、歯科医療再生という問題が喫緊であるとお感じになったのではないのでしょうか。

鴨川 卓也(4期)



熱心に聞き入る聴講者たち

同窓会通信 福歯大^{カタギ}大気質 長尾 博通(1期)

卒業して早や28年目となります。昨年、娘が母校へ入学し何かと学生さんと接する機会が多くなり、とくに我がラグビー部の後輩とは多く語ることができました。そこで感じたことですが、「福歯大気質」もかなり変化、弱体化したようです。概して素直でよい子たちばかりですが、なにせ話しをしていても誠意・情熱といったものが伝わってきません。学生諸君に何か物足りなさを感じるのは私だけでしょうか。時代の流れ、仕方ないと言えばそれまでですが、母校の将来に少し不安を抱きました。

何かことを起こす時は、人と会うことから始めなければなりません。そして誠意と情熱をもって自分の想いを言葉にします。人を納得させるのは誠意だし、動かすのは情熱です。それ以外には要領もコツもありません。学生諸君には、不器用でいいから誠意と情熱をもって人と出会い人にぶつかってほしいと思います。

草創期の「福歯大気質」を持った卒業生が各地で認められ、寺尾(1期、佐賀県歯科医師会会長)、吉田(1期、熊本県歯科医師

会副会長)、高嶺(6期、沖縄県歯科医師会会長)のように歯科界の最前線で指揮をとり、またこの他にも多くの同窓生が地域社会で要職に就いて活躍中です。同輩としてほんとうに心強いかぎりです。片や我々の後に続く学生諸君の「ヤワな気質」に寂しさを覚えたのは私だけでしょうか。多くの仲間あつての同窓会です。多くの仲間皆で、学生生活に「気概」をもって臨み、そして自分たちの手で確固たる「福歯大気質」を創り上げ、これを携えて母校を巣立って欲しいと思います。

卒業生トーク 「落語と私」池尻 敬(22期)



こんにちは。私、第22期生の池尻 敬と申します。

卒業してから福岡歯科大学医科歯科総合病棟の保存(むし歯)・歯周病科に在籍しています。歯科医師となり早いもので6年が経とうとしています。臨床の場にたち、日々試行錯誤しながら勉強している毎日です。

現在、小学校のころから続けている落語をしています。アマチュアながら『粗忽家 勘々』という芸名で活動を行い、福岡市唐人町を拠点として週末を使い各地で落語を行うといった生活が、今年で約20年が経とうとしています。

小学校のクラブ活動ではじまったものの、いまでは趣味を通り越し道楽となつてしまい、職場や家族に迷惑をかけてしまっています。

スポーツや音楽ではなく何故にこのようなものにはまってしまったのか。スポーツであればバットやグローブ等といった道具を使い試合を楽し

み、音楽であればギターやドラム等といった道具を使って演奏を楽しむのですが、何故、落語…。使う道具は扇子に手ぬぐいだけ、普通に考えればいったい何が楽しいのかわからないと思います。

考えますと、私たちの仕事は患者さん個人に対して説明を行い診療することが大半になっているかと思えます。落語という芸は演者一人とお客さん大勢といった関係の中で、笑いというものを演者とお客さんが楽しむことで成り立ちます。これはなかなか日常の仕事のなかでは体験できないことだと思います。おもしろければ笑っていただけるし、おもしろくなければお客さんは帰ってしまう、なかなか難しい芸です。

これからもお客様に楽しんでいただけるように日々努力し落語に研鑽を積んでいきたいと思っています。

ところで本当に私はこんな調子で歯医者頑張っているのでしょうか?



「お笑い一席!」

岐路に立つ 医療経営

医療機関の経営環境の変化と経営革新の必要性



「21世紀の医療提供体制の姿」と題して厚生労働省は質の高い医療を効率的に提供できる体制の構築を目指し、医療機関としてそのあるべき将来像を示しています。また、2006年4月の診療報酬改定では現状維持どころかマイナス改定としました。これは数字的には約25年前の医療費より下がったとも言われています。ある医療従事者は例えの話として、25年間給料が昇給されないどころか、25年前より下がったとすれば労働者はどうなるでしょうか?と苦悩を問いかけています。ところで、国立保険医療科学院という公共機関をご存知でしょうか?ここでは院長または副院長を受講対象とし、病院経営戦略策定の演習として医療の現状と課題、経営管理とリーダーシップ、財務管理、患者満足、IT個人情報保護、医療安全・患者安全管理・危機管理、経営的側面から見た組織人事管理、医療安全の法律的側面などのカリキュラムも作成しています。時代と共に変化、改革を進める事も医療人としての使命ではないでしょうか?しかし、いたずらに消費者の選択肢を拡大し、営利的に経営マインドを発揮すべきではないことは言うまでもありません。当院でも時間をかけながら、「人」、「物」、「財務」、「IT情報」の四つの事項をキーワードとして医療経営を考えた医療チームの構築、運営を目指しています。これからも客観的データをもとに当該地域において、必要性の高い医療を積極的に担うなどにより公益性を高め、住民の信頼を得ることが生き残りのひとつであると考えます。

最後に、本大学などにおいても医療機関としての経営や運営に関するケーススタディを行う機会を設けて頂ければ幸いです。

http://www18.ocn.ne.jp/~moritomo/
e-mail:tomonati @ mocha.ocn.ne.jp

(医)天昌会 森歯科小児歯科医院(熊本県山鹿市)
理事長 森 智昌(1期) = 文

写真上=最愛なるスタッフ
(平日の昼食時間を利用して、近くのホテルでランチョンセミナーを開いた時)
写真下=第二の人生をささげる空手道場にて(前列左から2番目が私)。
「アメリカやドイツに兄弟、姉妹弟子がいますので海外での修行が私のプライベートな夢です。」



住めば都!?



こんにちは、17期生の龍野雅浩です。

平成7年に福岡歯科大学を卒業し、本川渉教授の小児歯科学講座にて三年間、小児の治療について勉強させていただいた後、七年間程、福岡の開業医の先生方(10期の末延総一郎先生、3期の故副島嘉男先生など)の診療を手伝わせていただきまして、昨年12月末に福岡歯科大学の近所でもある早良区野芥に開業いたしました。

佐賀県出身の僕がどうして野芥の地で開業かと言うと、学生時代からこの地に住んでいた為いつの間にか周りに知り合い(お洒落がり!)が増え、どうせ新規開業なら誰も知り合いの居ない土地より、少しでも知り合いの多い土地の方がそこから広がる繋がりがあるのではと思いこの地に開業いたしました。

開業当初はまさしく年の瀬が押し迫っていた為、飛び込みの新規患者は少なかったのですが、知り合いの人が診療に来てくれたお蔭で、開業時に誰も患者が居なくて暇だということが少なくて済み、本当にいろんな意味で助かりました(笑)。でも今では知り合いよりそうでない患者さんの方が多いですけど。

私生活の方では、子供を二人(二人とも男!)授かり、その為、家に帰っても部屋の中に色々な物が散乱しているので、休まる場所がありませんが、寝ているわが子の寝顔を見る度に、こいつ等の為にも仕事を頑張らなければ!と自分に喝を入れ、我が父親(開業医)もこの様に思って頑張ったのかなぁと思い、日々頑張っています。

最後になりましたが、同窓の先生方の益々のご活躍と御健康をお祈り申し上げます。

たつの歯科クリニック(福岡市)
龍野 雅浩(17期) = 文

写真上=クリニック内部(個室診療室へのドア)
写真下=いつも明るいスタッフ



第9回福岡歯科学園体育祭

5月26日、福岡歯科大学・福岡医療短期大学の共同開催による体育祭が開催されました。あいにくの雨で、グラウンドで予定されていたサッカーとクラス対抗リレーは中止となりましたが、バレーボール、バスケ

ール、助言教員参加のクラス対抗綱引きが福岡歯科大学体育館で行われ、各競技とも盛んな声援をうけながらの熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

バレーボール

男子 優勝：福岡歯科大学歯学部4年チーム
女子 優勝：福岡歯科大学歯学部1年チーム

バスケットボール

男子 優勝：福岡歯科大学歯学部4年チーム
女子 優勝：福岡歯科大学歯学部1年チーム

クラス対抗綱引

優勝：福岡歯科大学歯学部2年Bクラスチーム
準優勝：福岡医療短期大学保健福祉学科2年チーム



クラス対抗綱引き



シュートを打つ選手(バスケットボール)

第38回歯学体夏期部門

第38回全日本歯科学学生総合体育大会夏期部門(事務主管 日本大学松戸歯学部)が、7月29日から8月11日にかけて東京都や千葉県を中心に開催されます。各競技日程と会場は下表のとおりです。

競技名	日程	会場
硬式野球	8月1日(火)～6日(日)	成田市営大谷津球場・佐倉市岩名球場 他
硬式庭球	7月29日(土)～8月1日(火)	軽井沢町塩沢地区民宿テニスコート
サッカー	8月1日(火)～5日(土)	駒沢オリンピック公園総合運動場・秋津総合運動公園内秋津サッカー場
ゴルフ	8月2日(水)～3日(木)	東千葉カントリー倶楽部
バドミントン	8月7日(月)～11日(金)	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)
バレーボール	8月6日(日)～9日(水)	千葉ポートアリーナ
バスケットボール	8月2日(水)～6日(日)	日本大学理工学部船橋校舎スポーツホール 他
ボウリング	8月7日(月)～9日(水)	ハタボウリングセンター
柔道	8月5日(土)～6日(日)	講道館
剣道	8月5日(土)～6日(日)	浦安市運動公園総合体育館
弓道	8月3日(木) 6日(日)	明治神宮至誠館弓道場
空手道	7月30日(日)	日本大学歯科体育館
水泳	8月2日(水)～3日(木)	千葉県国際総合水泳場
ヨット	8月4日(金)～6日(日)	蒲郡海洋ヨットハーバー

夜間照明装置をラグビー場、テニスコート等に設置

学生の課外活動等の活性化を図るため、ラグビー場、サッカー場、テニスコートに夜間照明装置が設置されます。ラグビー場、サッカー場にはグラウンドの両サイドに2基、計4基の照明装置が、テニスコートにはテニス専用照明装置4基と投光器1基が整備されます。工事は8月には開始され、今秋から夜間練習が可能となる予定です。なお、照明装置の整備に際しては、ラグビー、サッカー、テニス部のOB会及び野球部OB会から、多大のご支援、ご協力をいただいています。

併せてこのグラウンドは、非常災害時の地域住民の避難場所としての提供も検討されています。



ラグビー部OB会より寄贈

保健福祉学科1・2年親睦会

5月14日、福岡医療短期大学保健福祉学科1・2年生合同の親睦会が行われました。午前中は、大学体育館でボールを使ったゲーム等で軽い汗を流し、午後は305講義室でアメリカンコメディの映画鑑賞と高瀬教授による「映画における英語コミュニケーション」についてクイズ形式の解説が行われ、リラックスムードの中で学年間の親睦を深めました。



ボールを使ったレクリエーション

サンシャインプラザ1泊旅行

3月15日から16日にかけて、介護老人福祉施設 サンシャインプラザの入所者とその家族、職員が休暇村 志賀島へ1泊旅行に出かけました。参加者は海辺を散歩したり、一面に広がる博多湾を眺めるなど自由時間を過ごし、夕食時は入所者や家族による歌、職員による詩吟などの演芸も披露され、大いに盛り上がり、楽しく充実した旅行となりました。



楽しく夕食

第4回サンシャインシティ大運動会

6月25日、介護老人保健施設 サンシャインシティ1階 デイケア・リハビリフロアで第4回大運動会が開催されました。この運動会は入所者と家族が一体感のある競技を通して交流を深めることができるよう、また、ご家族へ施設看護、介護について理解を深めてもらう場になるよう毎年行われています。今年度はバトントレーや障害物競走、応援合戦などが行われ入所者やその家族、職員から大きな歓声が上がっていました。



赤組・白組対抗で応援合戦

平成19年度入学試験日程

福岡歯科大学					福岡歯科大学大学院 歯学研究科	
区分	推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	一次募集	二次募集
募集人員	約30名	約46名	約10名	約10名	18名	
出願受付期間	H18.11.1(木)-11.9(木)	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.1.22(月)-2.13(火)	H19.2.13(火)-3.6(火)	H18.7.31(月)-8.18(金)	H19.1.29(月)-2.16(金)
試験日	11月11日(土)	2月1日(木)	2月17日(土)	3月8日(木)	8月24日(木)	2月22日(木)
合格発表日	11月16日(木)	2月7日(水)	2月21日(水)	3月14日(水)	9月6日(水)	3月7日(水)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427(直通) ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp					

福岡医療短期大学・歯科衛生学科					
区分	推薦入試	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	20名	15名	5名	若干名	40名
出願受付期間	H18.11.1(木)-11.9(木)	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.2.5(月)-2.22(木)	H19.3.1(木)-3.12(月)	詳細は下表をご覧ください。
試験日	11月11日(土)	2月1日(木)	2月24日(土)	3月14日(木)	
合格発表日	11月17日(金)	2月6日(火)	3月2日(金)	3月16日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col/hyg ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp				

福岡医療短期大学・保健福祉学科								
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(I)(公募・社会人)	推薦入試(II)(公募・社会人)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	15名	10名	5名	10名	若干名	若干名	若干名	20名
出願受付期間	H18.11.1(木)-11.9(木)	H18.11.1(木)-11.9(木)	H18.12.4(月)-12.14(木)	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.2.5(月)-2.22(木)	H19.3.1(木)-3.12(月)	H19.3.16(金)-3.24(土)	詳細は下表をご覧ください。
試験日	11月11日(土)	11月11日(土)	12月16日(土)	2月1日(木)	2月24日(土)	3月14日(木)	3月26日(月)	
合格発表日	11月17日(金)	11月17日(金)	12月21日(木)	2月6日(火)	3月2日(金)	3月16日(金)	3月27日(火)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col/wel ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp							

福岡医療短期大学 Admission Office (AO) 入学試験

AO入学試験は、これまでの学力を重視した入学試験とは異なり、人物を重視した入学試験です。書類選考や面談をとおして受験生の意欲、目的意識や可能性などを総合的に評価します。

福岡医療短期大学 歯科衛生学科・保健福祉学科						
区分	説明・面接及び申込み開始	エントリーカード提出締切	面接(1)及び課題提示	願書提出及び面接(2)	合格発表	入学手続締切
8月期	8月11日(金)	8月22日(火)	8月29日(火)	9月9日(土)	10月6日(金)	10月20日(金)
9月期	9月30日(土)	10月5日(木)	10月7日(土)	10月14日(土)	10月20日(金)	10月31日(火)
10月期	10月21日(土)	10月31日(火)	11月4日(土)	11月11日(土)	11月17日(金)	11月30日(木)

【注】申込み開始日はオープンキャンパス開催日です。各AO入試において、社会人AO入試も行います。 ※12月以降のAO入学試験は、入試係にお問合せください。

オープンキャンパス

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学において「オープンキャンパス」が下記の日程で行われます。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。(問合せは上記の大学・短大各入試係まで)

開催校	実施日
福岡歯科大学	10月28-29日(土・日)【学園祭】
福岡医療短期大学 (歯科衛生学科) (保健福祉学科)	第4回 8月11日(金)
	第5回 9月30日(土)
	第6回 10月21日(土)

5月20日に実施された福岡医療短期大学オープンキャンパス



(歯科衛生学科:マネキン実習室)



(保健福祉学科:車椅子体験)

福岡歯科大学特待生

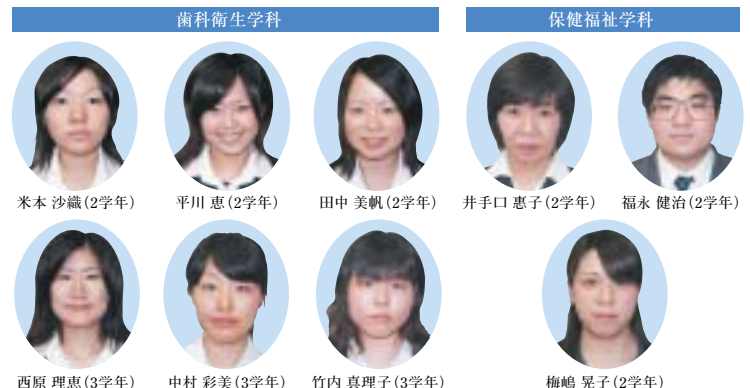
福岡歯科大学の平成18年度特待生に次の8名が選ばれました。特待生は、学業成績が特に優秀であり、品行方正、かつ健康であることを加味決定され、その年度の授業料の半額が免除されます。



橋本 明枝(2学年) 村上 千尋(3学年) 笹倉 彩(3学年) 五島 有樹恵(3学年)
切手 英理子(3学年) 川中 笑美(4学年) 梅田 まりこ(5学年) 大城 希美子(6学年)

福岡医療短期大学特別奨学生

福岡医療短期大学の平成18年度特別奨学生に次の9名が選ばれました。特別奨学生は、その年度の授業料の半額が免除されます。



歯科衛生学科: 米本 沙織(2学年) 平川 恵(2学年) 田中 美帆(2学年) 井手口 恵子(2学年) 福永 健治(2学年)
保健福祉学科: 西原 理恵(3学年) 中村 彩美(3学年) 竹内 真理子(3学年) 梅嶋 晃子(2学年)